

## 学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

## 【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 農学部3年

氏名: 宮元美法

|   |                 |
|---|-----------------|
| 授業科目名   | 国際感覚を持つバイテク人材育成 |
| 1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250~300字程度)   |                 |
| <p>今回のタイ研修では、英会話によるKMUTTの学生との交流を通じて、タイと日本の貿易の可能性について話し合い、自分の班では日本からタイへの茶の輸出についてプレゼンをすることができた。また、歴史展示館訪問ではタイの文化やチャクリー王朝以降のタイの歴史を学び、タイの近代化がどのようにして行われたか、日本の近代化との共通点や相違点は何かを知ることができ、そして改めて日本の歴史を見つめなおすことができた。企業訪問では環境と人の持続可能性への配慮・高品質維持のための管理・需要に合った新しい商品の開発など、それぞれの企業努力を知ることができた。</p>                             |                 |
| 2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250~300字程度)   |                 |
| <p>タイでの生活でまず実感したのはやはり物価が日本より低いことだが、低い物価ながら首都圏の生活水準が高いことに驚いた。学食1食の値段が200円もしないが、交通や住居に問題はなく、コンビニエンスストアが各地にあり、現地の学生に案内してもらった商業施設は日本のデパートと同等かそれ以上に大きく感じた。これはタイがアジアの物流拠点であり物流コストを低く抑えられることが一因といわれる。物価だけでは現地の生活を予想することはできないので、やはりその国を知るには一度訪れることが必要だと感じた。またタイの生活は仏教と深い関わりがあり、現地の方々の信心深さを感じる場面があったのも新しい発見だった。</p>      |                 |
| 3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250~300字程度)   |                 |
| <p>自分は英語があまり得意ではなく、現地に到着してから2日ほどは英語しかない会話に圧倒されてほとんど話すことができなかった。KMUTTの学生方は日本人に興味を持ってくれており様々な質問をしてくれるのだが、簡単な言葉ですら伝えることができず自分の英語力の低さに落ち込んでしまった。しかしこのままでは終われないと思い、3日目以降の講義や企業訪問では積極的に手を挙げて英語で質問する努力をした。最初は質問が伝わるかどうかと非常に緊張したが、自分に何か伝えたいという意思がある限り相手も意味をくみ取ろうとしてくれるのだと気づき、少しずつではあるが自信をもって発言するようになったのが成長できた点だと思う。</p> |                 |
| 4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250~300字程度)   |                 |
| <p>企業を訪問してよく聞いた言葉が「環境配慮」や「持続可能性」という言葉で、日本ではなく海外でその言葉を聞いたことで、今世界全体で地球の環境問題が意識されているのだと感じた。自分の生活の中で環境に配慮できる部分を改善していくのはもちろん、仕事や地域ボランティアなど社会に関わる場面でもこの意識を持ち続けたいと思う。また今回は自分の英語能力の低さに直面した研修でもあった。これまでは「英語を話すため」に英語を勉強するという考えだったが、研修を通して「自分の意思を伝えるため」に勉強をしたいと考えるようになった。今後英語を学び、自分の専門分野や日本のことについて英語で説明できるようになれたらと思う。</p> |                 |

## 学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

## 【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 農学部・1年

氏名: 阿多美幸

| 授業科目名  | 国際感覚を持つバイテク人材育成 |
|--|-----------------|
| <p>1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250～300字程度)</p>   |                 |
| <p>研修先での学習内容は、農業や食品について企業や講義から学び、寺院や博物館などに足を運んで、タイの文化を直接体験するものだった。また、PBL活動によってタイの学生と交流し、プレゼンテーションを発表した。この研修を通して、タイの食品に対する興味と理解が深まったと思う。特に、味の素の工場訪問では、自分が現在学んでいることとのつながりが見えたので非常に興味深く勉強になった。また、プレゼンテーション活動を通して、タイの学生とコミュニケーションをとることができ、新しい視点に刺激を受けた。また、どんな活動を通して、質問をする力を身につけられたと思う。</p>     |                 |
| <p>2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250～300字程度)</p>   |                 |
| <p>タイでは思っていたよりも日本の商品や日本食レストラン、日本の会社を多く見かけた。日本に対して好意的な人が多いと感じた。交流したタイの学生の方々は日本に興味があつて、日本についていろいろな質問をしてくれたが、自分は意外と自国のこと、鹿児島のことを知らないということに気づいた。逆に、タイの学生の方々は自国のことをしっかり説明できる人が多かった。もっと自分の国に関心を持つことが、国際コミュニケーションの一步だと思った。今後は日本の音楽やアニメ、伝統や歴史のような幅広い話題を日ごろからチェックし、説明できるようにしたい。</p>                 |                 |
| <p>3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250～300字程度)</p>   |                 |
| <p>研修前は自分に自信がなく、自ら進んでやったことのないことを体験したり、質問したりするのが苦手だった。企業の訪問でも、自分が気になったことや疑問に思ったことをすぐに伝えることができなかった。また、タイ人の学生と交流する際に、自ら質問をしたり積極的に話しかけたりが出来なかった。タイの学生の方々もネイティブではないため、言おうとしていることをうまくみ取ろうとしてくれていた。そのため完璧に話せなくても、一歩踏み出して、とにかく何か発言することが非常に大事だと思った。研修が終わってから、人の話を聞いてから必ず何か質問するようになった。</p>           |                 |
| <p>4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250～300字程度)</p>   |                 |
| <p>タイのラン農園に行ったとき、その農園では付加価値を付けた商品を開発・販売しているという話を聞いた。普通の切り花では長持ちしないうえ価値も低いので、花に切り花以外の活路を見出しているというのだ。私はその話を聞いて、鹿児島の特産物であるお茶なども、付加価値(食品以外の活路を見出して研究や開発をする)をつけてはどうだろうかと思った。もちろん今でも開発や研究はすでに行われていると思うが、自分もそれに寄与したいと考えた。これをするのでお茶の売り上げが伸びて地域社会が発展してくれたらうれしいと思った。そのために、今後は専門の勉強に力を入れていきたいと思う。</p> |                 |

## 学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

## 【研修参加者】

農学部  
所属(学部(研究科)・学年): (国際食料資源学特別コース)・1年

氏名: 朝長寿奈子

|   |                 |
|---|-----------------|
| 授業科目名   | 国際感覚を持つバイテク人材育成 |
| 1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250~300字程度)   |                 |
| <p>研修先では、主に工場や会社の見学とプレゼンテーションを行なった。ココナッツの栽培・販売をしている「Aromatic farm」や「味の素アユタヤ工場」などでは、日本とは違った環境下での商品の扱い方やビジネスについて学ぶことができた。プレゼンテーションではタイの学生と一緒に、事前で作っていた資料をもとにディスカッションをし、自分達だけでは考えつくことのできなかつた多様なアイデアを盛り込んだプレゼンテーションを完成させることができた。研修先での学習は、現地に行くことでしか得られない新たな経験や知識が多くあり、「多様性」という言葉を身をもって知ることができた。</p>     |                 |
| 2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250~300字程度)   |                 |
| <p>タイでの生活は、日本との違いに驚かされることばかりだった。内装が豪華な車やずらりと立ち並ぶ屋台、日本にはない植物や動物など、見るもの全てが新鮮に感じた。その中でもタイの人たちがとてもフレンドリーで、知らない人でも話しかけてきてくれたり、笑顔に向けてきてくれたことが印象深かった。私たちが日本人だと分かると日本語で話しかけてくれる人が多かった。積極的に話しかけてきてくれるところに、日本との違いを感じた。また、タイでは至る所に日本食レストランや日本製品が多くあった。タイの学生も日本のアニメや音楽が好きな人がいて、日本に対して興味を持った人が多いと感じた。</p>        |                 |
| 3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250~300字程度)   |                 |
| <p>私は自分の英語能力、特に話すことに対して抵抗があり、英語を話す前に何を言うか準備して話したりしていたため、タイの人たちとコミュニケーションをとる時に時間が必要だった。しかし、タイの学生とその日の出来事について話したり、プレゼンテーションの内容について質問したりしていく中で、文法的に間違っいてもとにかく話すことが重要だと気づき、思いついたままに話す努力をした。相手が話していることを完全に理解し、完璧な返答をすることはできなかったが、コミュニケーションツールとしての英語を少しは身につけることができたように感じる。</p>                            |                 |
| 4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250~300字程度)   |                 |
| <p>今回の研修を受けてタイの学生の学ぶ姿勢や、タイの会社の地域に根差したビジネスプランに衝撃を受け、自分の学習態度や今後の進路について考えるきっかけにもなった。私は国際開発に興味があったが海外渡航経験がなく、自分で仕入れた情報内で勉強していた。今回実際に日本以外の国での生活を経験することで新たな発見だけでなく、もっと他の国も訪れてみたいという気持ちが大きくなった。今後としては、より海外経験を積み、多様な価値観や文化を理解することのできる国際的な人材になりたいというのが目標である。そのために、円滑にコミュニケーションをとるツールとして英語の勉強を特に頑張っていきたい。</p> |                 |

# 学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

## 【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 農学部・4年

氏名: 高縄まなか

| 授業科目名  | 国際感覚を持つバイテク人材育成 |
|--|-----------------|
| <p>1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250～300字程度)</p>   |                 |
| <p>今回訪問した会社の中で、最も印象に残ったものはココナッツを製造しているAromatic farmである。初めにココナッツの製造方法やオーガニックで体に優しいココナッツにするための工夫を学んだ。特に、タイは虫が多く害虫の駆除が難しい。しかし、農薬を使わずに人には無害な虫を利用して、害虫駆除を行っていることに驚いた。また、池を利用してココナッツを収穫することで、傷がつかない工夫や、商品の多様化など多くのことに取り組んでいた。オーナーさんが女性であり、賢いビジネスの方法やココナッツが好きだから始めたという生き立ちなど素敵なお話を聞くことができた。</p>                   |                 |
| <p>2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250～300字程度)</p>   |                 |
| <p>タイの交通事情が大変印象に残った。日本と比較してバイクが多く、家族でバイクに乗っている風景を何度も見かけた。タクシーバイクという移動手段もあり、これは渋滞を避けるために便利だそう。活動後の移動では、かなりの高確率で渋滞に巻き込まれたため、バイクの需要が高いことに納得がいった。また、道路が整備されておらず、かなり激しく揺れたり、車が通り切らずボディを壁にぶつけていたりした。日本ではクラクションをみだりにならすことや、車間距離をとらないことは危ない運転とされているが、タイではこのような運転をする人が多いように感じた。日本の道路整備や交通規制の素晴らしさに気づくことができた。</p>    |                 |
| <p>3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250～300字程度)</p>   |                 |
| <p>研修前後で最も成長した点は、英語を話すことに抵抗がなくなり伝わらなくてもとりあえず話してみよう、という積極的な姿勢が身についたことである。空港に着いた時は、タイの先生方が迎えてくださったにも関わらず、英語で話すことに抵抗を感じてしまい、うまく会話が續かなかった。しかし、日が経つにつれて先生方に質問するだけでなく、自分自身がこうしたい、ということも伝えられるようになった。話すだけでなく、英語を聞き取る力も日に日に伸びていった。研修一日目であれば、聞き返していた質問も一回で聞き取ることができるようになった。全体的な英語力はわずしかし伸びていないかもしれないが、大きな自信がいった。</p> |                 |
| <p>4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250～300字程度)</p>   |                 |
| <p>今後は、留学生や海外からの移住者を支援する活動に取り組んでいきたい。この理由は、今回のKMUTTとの交流を通して、英語の重要さやタイの学生の方々の優しさを身をもって感じ、日本にいる留学生をサポートしたいと思ったからである。特に、日本語ではなく英語でサポートできるように英語学習に力を入れたい。今回の研修を通して、自身の英語力の未熟さや伝えたくても言葉にできずに、たくさん悔しい思いをした。そのため、会話がスムーズにできるレベルに達するまで勉強を続け、海外の方との交流を楽しみたい。さらに、この活動を通して日本への留学生を増やすことに繋がれば良いなと考えている。</p>            |                 |

# 学生海外研修報告書

鹿児島大学長 殿

## 【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 農学部・1年

氏名: 寺谷実花

| 授業科目名   | 国際感覚を持つバイテク人材育成 |
|---|-----------------|
| <p>1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250～300字程度)</p>  |                 |
| <p>研修先では熱帯作物についての基礎知識を、講義を通じて得ることができた。また、実際に食品生産工場やラン農園、コナッツファームに訪れることで、講義内で得られた知識が実際にどのように活用されているかを実際に体感することができた。また、現地の大学生と日本とタイの輸入戦略について議論をすることでタイと日本の食の違いを発見することができた。また、自分自身の成長としては英語を使った議論で率先して参加したり、他の学生のサポートをしたりすることにより英語を使ったコミュニケーション能力が高まったと考える。自分の英語が伝わらなかったとしても喋り続けるということが重要であると気づいた。</p>             |                 |
| <p>2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250～300字程度)</p>  |                 |
| <p>現地の生活で気付かされたことは宗教が生活に密着しているということだ。現地で訪問した会社や農園、大学には必ず spirit houseという神棚のようなものがあり、会社の経営や人々の安全を守ってくれると信じられている。日本は一般的に無宗教であるため、社会全体に宗教が浸透しているという感覚は新鮮であった。しかし、国民全員が熱心な仏教とであるわけではなく、時代とともに仏教の教えも人々によって変化していると現地の学生が言っていた。このことから宗教は人々の生活に合わせて変化していくからこそ今も多くの人に信仰されているのではないかと考えた。</p>                              |                 |
| <p>3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250～300字程度)</p>  |                 |
| <p>研修前は英語を使ったコミュニケーションに苦手意識を持っていた。また、研修前半は現地の学生や関わってくださった教員やスタッフの方々とは打ち解けられていなかったこともあり、英語で質問することや、意見を発言することに抵抗を感じていた。しかし、現地の大学生との議論では、現地の学生が積極的に質問してくれたため必死に英語で意見をいう場面が多々あった。さらに、スタッフの方や現地の大学生との共通言語は英語しかないので、必死に喋ることが必要とされていた。そのような環境に身を置くことで短期間であったが、日々英語を喋ることに抵抗を感じないようになった。この体感を忘れないで、今後も英語能力を磨きたいと思った。</p> |                 |
| <p>4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250～300字程度)</p>  |                 |
| <p>この研修を通して異文化交流の重要性を学ぶことができた。異文化に触れることで自分以外の価値観を知るとともに、自分の新しい一面や強みを発見することができた。それにより、自分も他人も認めることができると考える。そのため今後は地域の子どもたちを対象に異文化を学べるような機会を増やしていきたいと考えた。具体的には地域の教育機関と協力し、自分の異文化体験を紹介と通し、子どもたちに異文化交流に興味を持ってもらいたいと考える。そして、このような活動を通じて「多様なことがあたりまえ」と思えるような地域社会を作って行きたいと思う。</p>                                       |                 |

## 学生海外研修報告書

鹿兒島大学長 殿

## 【研修参加者】

所属(学部(研究科)・学年): 法文学部・3年

氏名: 有村穂香

| 授業科目名   | 国際感覚を持つバイテク人材育成 |
|---|-----------------|
| <p>1. 研修先での学習内容及び自身の学習成果について記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>今回の研修では、主にタイの農業とタイの歴史・文化について幅広く学習した。農業に関しては、タイ米や切り花に関する講義のほか、国立食品研究所やココナッツ農園などに行き、話を聞いた。歴史・文化については、寺院やタイの歴史が学べる博物館に行き、知識を得た。これまで農業についてほとんど知らなかったが、実際に見たり触れたりしながら学び、以前より興味を持った。特に印象に残っているのがアロマティックファームというココナッツ農園を訪問したことである。農園の理念として、利益だけを求めるのではなく、人々に仕事を提供するという社会的目的も果たすことが挙げられており、そこから見えてくる社会問題についても関心を持った。</p> |                 |
| <p>2. 現地での生活を体験して得た気づきや学びを記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>現地での生活は毎日新しい発見があり、とても刺激的だった。なかでも特に印象的だったのが交通である。日本よりも道幅が狭く車同士がぶつかりそうなほど近いのに、事故をしないことが不思議だった。バイクの2人乗りやトゥクトゥク、軽トラックの荷台に人が乗っている光景など、日本ではあまり見たことのない景色が日常的にあることもとても新鮮だった。移動の際のマイクロバスの内装も派手で、そのような小さなところにも違いがあって面白かった。外国に行ってみないと日本の交通の安全さには気付けなかったため、自分の目で見て感じる事が出来て良かった。</p>   |                 |
| <p>3. 研修前と後での自身の変化や最も成長した経験について具体的なエピソードをもとに記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>研修前後での自身の変化は、積極的に伝えようとするコミュニケーションをとれるようになったことである。最初は相手の英語が聞き取れないことや単語がすぐに思いつかないことなど戸惑いもあったが、身振り手振りを使いながら伝えようとすると、相手も汲み取ってくれて意思疎通できるようになり、次第に自信がついた。特に、タイの学生と日本の文化について話しているときは、共通の話題で盛り上がる事が出来て嬉しく感じた。コミュニケーションには恥や躊躇いを捨てて相手に伝えようとする気持ちが大切であるということをもっと学んだ。</p>                                   |                 |
| <p>4. 地域社会の発展に寄与するため、今後取り組んでいきたいこと、自身の目標について記載して下さい。(250～300字程度)</p> <p>地域社会の発展には女性の社会進出が必要であると考えます。タイでは女性が活躍している姿が多く見受けられ、芯をもって生き生きと働いている姿が印象的だった。日本でも男女平等を掲げているが、実際は格差が多く残り、女性の社会進出は実現されていないように感じる。よりよい地域社会をつくるために、男女関係なくリーダーとなれるような環境作りが重要だと思う。このような社会を実現するために、まずは男女格差についてさらに詳しく学んでいきたい。男女平等が進んでいる他国での教育システムなどを学び、それをどのように地域社会に応用できるかも考えていきたい。</p>                   |                 |